

## 洋画

### (1) 愛媛出身の作家

収蔵する洋画作品の大半を占めるのは、愛媛出身の作家たちです。明治期の作家としては、不同舎や明治美術会で活動し、また近代日本の水彩画史草創期においても重要な位置を占めた中川八郎(1877-1922/内子町出身)が居ます。続く大正期は、個性尊重の時流の中で、多彩な表現が花開きました。二科会で活動した野間仁根(1901-1979/今治市出身)、フランス留学を経て帝展・日展で活動した中野和高(1896-1965/大洲市出身)、大正期新興美術運動やプロレタリア美術運動に身を投じ、前衛的で多彩な活動を展開した柳瀬正夢(1900-1945/松山市出身)らの名が挙げられます。戦後は、新制作派協会で活動し、美術評論家・洲之内徹に愛された古茂田公雄(1910-1986/松山市出身)・守介(1918-1960/松山市出身)兄弟をはじめ、郷土の美術運動・教育発展に貢献した存在として坂田虎一(1906-2000/四国中央市出身)、松原一(1896-1965/松山市出身)らが居ます(※野間仁根、柳瀬正夢については、別項参照)。

### (2) 美術史上重要な作家

小林萬吾(1870-1947)、吉田博(1876-1950)、岸田劉生(1891-1929)、中村彝(1887-1924)、安井曾太郎(1888-1955)、坂本繁二郎(1882-1969)、藤田嗣治(1886-1968)、前田寛治(1896-1930)、里見勝蔵(1895-1981)、須田国太郎(1891-1961)、香月泰男(1911-1974)、小磯良平(1903-1988)など、日本近代美術史の流れをたどる上で重要な作家たちの作品を収蔵しています。



中川八郎 NAKAGAWA Hachiro

《裾野残雪》

1920(大正9)年

油彩/画布

60.6 × 80.3cm



中野和高 NAKAGAWA Kazutaka

《風景を配せる我家庭》

1928(昭和3)年

油彩/画布

145.0 × 216.5cm



古茂田守介 KOMODA Morisuke

《踊り子たち》

1948(昭和23)年

油彩/画布

103.0 × 183.5cm



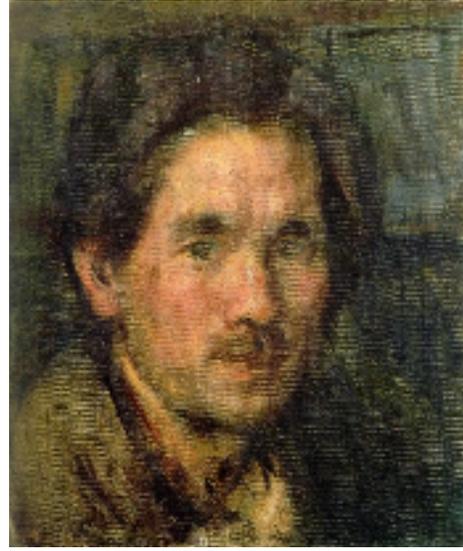
吉田博 YOSHIDA Hiroshi

《藤香漂う春の宵》

明治時代後期

水彩／紙

50.5 × 33.9cm



中村彝 NAKAMURA Tsune

《自画像》

1916(大正5)年

油彩／画布

45.5 × 37.5cm



安井曾太郎 YASUI Sotaro

《樹蔭》

1919(大正8)年

油彩／画布

129.8 × 161.0cm



須田国太郎 SUDA Kunitaro

《杉》

1955(昭和30)年

油彩／画布

61.7 × 73.0cm